

# 新年のご挨拶

長崎県教育センターWeb 情報第441号(1月9日号)

長崎県教育センター 研修部長 山崎由美

明けましておめでとうございます。

昨年はさまざまな場面で県教育センターをご活用いただき、ありがとうございました。

本年も当センターは「学校支援 教員応援」をモットーに、教職員研修、教育相談及び調査研究等の取組を展開していきます。今後とも各種取組へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

各学校では、冬季休業日が明け、子どもたちがそれぞれの新年の抱負を胸に登校していることと思います。今年は特に、5月に平成から新年号に変わることもあり、年の初めに、自分なりに新しい時代に思いを馳せる子どもたちも多かったかもしれません。将来の変化を予測することが困難な時代を前に、子どもたちは未来に向けて、自らの人生を拓いていきます。そんな子どもたち一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に必要な資質・能力を確実に育成していくために、私たちは、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を実現していかなければなりません。昨年度のステップアップセミナーの講師をしていただいた 國學院大學 田村学教授はその著書『深い学び』の中で、私たちが求めている授業には、次のような子どもの姿が見られるのではないかと述べておられます。

- 学びを楽しむ
- 積極的に主張する
- 互いの意見を傾聴する
- 独自性や斬新さを認める
- 意見や考えの差違に正対する
- 自らの考えを生成する
- 仲間の存在を大切にする
- 自己変容に気付く



こんな子どもたちの姿が見られる授業を思い描き、工夫を凝らし、周りの先生方と語り合い、学び合い、その実現に向けて力を合わせていきましょう。

現在、県教育センターでは2月13日(水)に開催する長崎県教育センター研究発表会の準備に取り組んでいます。どの発表も、今日的な教育課題について研究した実践的な内容です。グループ等による意見交換を行い、互いに考えを深め合うことができるセッション形式を取り入れた発表会です。既に案内を差し上げていますが、今年度は「子どもの未来につながる教育について一緒に考えませんか」と呼びかけています。子どもたちばかりでなく、教職員の主体的・対話的で深い学びの場をここでも一つ一緒に作りましょう。皆さんの参加をお待ちしています。

最後になりましたが、新しい年が皆さんにとって、子どもたちにとって、そして学校にとって、実り多い素晴らしい年になることを祈念して新年のご挨拶といたします。